

スペイン

列車で旅する



www.spain.info



▲ フランサ駅
バルセロナ

目次

はじめに	3
高速鉄道AVE	4
マドリードからバルセロナ 南部への路線 北部への路線 東部への路線	
豪華列車で名所を巡る旅	16
トランスカンタブリコグラン・ルホ コスタ・ベルデエクスプレス アル・アンダルス	
その他のおすすめ列車	23
ロブラ特急列車	24
セルバンテス列車	26
その他の列車	27
インターレイル:お得楽しむ旅	29

産業観光省

出版元:© Turespaña

作成:Lionbridge

086-18-012-3

NIPO: 086-17-059-4

無料配布

パンフレット内容については万全を期して作成
いたしました。お気づきの点がございましたら、
改善のために brochures@tourspain.es まで
メールにてお知らせください。

表紙: アル・アンダルス号、リナレス (ハエ
ン県)

画像提供: スペイン国鉄 (Renfe)

裏表紙: マラガの大聖堂

写真: pabkov/123rf.com



スペイン各地を効率的に旅するなら
列車の旅がおすすめです。

はじめに

▲ ロブラ急行

スペイン国内の移動には、人気の観光地を網羅する鉄道が便利です。スペイン国鉄（RENFE）を利用すれば、マドリードからすべての州都、あらゆる地域にアクセスできます。

高速鉄道（AVE）は、スペインの主要な都市を巡るのにぴったりです。短時間で長距離移動が楽にでき、到着時間も正確です。目的地に到着後は、散策や美味しい食事を思う存分楽しみましょう。朝食はマドリードで、夕食はセビージャで素晴らしいフラメンコを観ながら、という過ごし方も可能です。

豪華列車で思い出に残る旅を体験しましょう。食堂車ではスペインならではの美食に舌鼓。窓からは美しい景色も望めます。エル・トランスカンタブリコの旅で豪華列車に乗って巡るのは、グリーン・スペインと呼ばれるスペイン北部です。専用バスルーム、 hidroサウナ、電動マッサージ、スチームバスなどを完備した豪華なスイートルームもあります。**アル・アンダルス号**での旅もおすすめです。本物の宮殿さながらの豪華列車で、スペイン南部を進みます。ベル・エポック風の内装、1920年代の広々とし

たラウンジカー、美味しい料理の数々に酔いしれながら、旅行中最高の数日間となること間違いなしです。

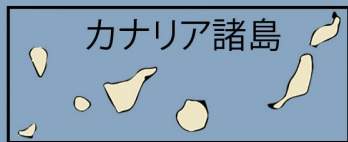
そのほかにも、感動が詰まった**魅力的なルート**はたくさんあります。たとえば、**ロブラ特急**では、緑が美しいスペイン北部の景観を楽しめます。この路線はかつての炭鉱列車をモデルにしており、レトロな車両からは19世紀末当時の雰囲気を感じられます。

列車の旅では、日帰りで利用できるルートもたくさんあります。マドリード発の**イチゴ列車**は、ユネスコの世界遺産にも登録された歴史を感じさせる美しい街、アランフエスに向かいます。古い木製の客車が今も現役という珍しい列車です。また、グアダラハラ県にある歴史ある町、シグエンサまで走る**中世列車**では、車内で役者たちのパフォーマンスを楽しむことができます。

カンタブリア海

大西洋

地中海



高速鉄道AVE

短時間で次の目的地まで着く高速鉄道（AVE）を利用して、効率的に観光地を巡りましょう。スペインの全国各地を高速で結び、限られた時間を有意義に使うことができます。多くの都市を網羅するので、好みの旅のプランに合わせて、いろんな街を訪れてみてください。

マドリードから バルセロナ

AVEは、スペインの二大都市マドリードとバルセロナを結んでいます。内陸のマドリードから海岸沿いのバルセロナまで、所要時間はたったの2時間半です。途中下車して、サラゴサなどの停車駅の街を散策してみるのもよいでしょう。

マドリード

首都ならではの芸術と歴史、エンターテインメントが盛りだくさん。パセオ・デル・アルテ（芸術の散歩道）を散歩しながら、美術館、宮殿、噴水、緑豊かな庭園を覗いてみませんか？世界有数の芸術コレクションを有する3つの美術館、プラド美術館、ティッセン＝ボルネミッサ美術館、ソフィア王妃芸術センター国立美術館を1度に訪れることができます。旧市街では、オーストリア家のマドリードと呼ばれる地区、チュエカ地区、ラス・レトラス地区など、風情ある街並みを眺めながら散策が楽しめます。マドリードは、昼夜問わずアクティビティーがいつ

ばいで、いつでも訪れる人々を楽しませてくれます。バルのテラスで、あるいはタベルナやレストランで、スペインにしかない郷土料理や創作料理も思う存分味わえます。

バルセロナ

地中海沿いにある前衛的な国際都市。いつ訪れても夢中になれる、魅力いっぱいの街です。徒歩でも、自転車でも、各地区を訪れて散策を楽しみましょう。ランブラ通りや海沿いの遊歩道もおすすめです。有名なゴシック地区は細い路地が入り組み、まるで中世にいるかのような雰囲気を感じられます。また、アントニ・ガウディの遺したカタルーニャのモデルニスモ建築も外せません。ユネスコの世界遺産にも登録されているサグラダ・ファミリア（聖家族教会）やグエル公園などガウディの傑作建築物は、想像以上にインパクトがあります。多くのイベントが開催されるバルセロナでは、展示会、コンサート、催し物など、お気に入りの必ず見つかるはず。レストランを訪れて、伝統的な料理から創作料理までそろそろバルセロナのグルメも堪能しましょう。職人によるこだわりのスイーツや発泡ワインもぜひお試しを。バルセロナへは、マラガなど多くの都市からもAVEで行くことができます。



ピジャ広場
マドリッド



サグラダ・ファミリア
バルセロナ



ロデンの高架橋
サラゴサ



▲ 聖母ピラール大聖堂
サラゴサ

サラゴサ

アラゴン州の州都サラゴサは、エbro川の河畔に美しい旧市街が広がります。徒歩で、または自転車で、エbro川のほとりを散策してみましましょう。川に架かる荘厳な橋が、訪れる人々を魅了します。文化の薫り高い街並みは、数々の素晴らしい建築物があつてこそ。通りを歩けば、城壁、共同浴場、公共広場、ローマ劇場 **アルハフェリア宮殿**、バロック建築の真髄 **聖母ピラール聖堂**、**ゴヤ美術館**、**イーベルカハコレクションのカモン・アスナール館**など、見どころはたくさんあります。バルをはしごして、タパス（美味しい小皿料理）を味わうのも楽しいもの。また、2008年の国際博覧会のために建設された建築物や橋は、サラゴサの現代的な側面を感じさせます。サ

ラゴサ水族館、アラゴン・パビリオン、テルセル・ミレニオ橋なども訪れてみましょう。

このルートで訪れるその他の都市

マドリードから20分ほどで長い歴史を持つ**グアダラハラ**に到着します。ここでは、極上のラム肉料理や名物のマス料理をぜひお試しあれ。人気の高いラ・アルカリア産のはちみつはお土産にぴったりです。また、高速鉄道では**カラタユ**にも行くことができ、その旧市街ではムデハル建築を堪能できます。

サラゴサとバルセロナ間のルートでは、どちらもカタルーニャ地方の街である**ジェイダ**と**タラゴナ**で下車してみるのもおすすめです。**ジェイダ**市の中心は丘に

なっており、13世紀に建てられたロマネスクゴシック様式の教会セウ・ベリャがあります。この教会は別名リエイダ旧大聖堂として知られています。美食の街とも呼ばれ、エスカルゴや、アグラメントのチョコレートが有名です。地中海のコスタ・ダウラダでは、海水浴と新鮮な魚介を楽しみましょう。中でもタラゴナの街がおすすめです。歴史的旧市街は、紀元前3世紀に建設されたローマ帝国の城壁に囲まれ、散策するのが楽しいエリア。海をバックにしたローマ円形劇場は、息を飲むほどの美しさです。これら古代ローマ時代の建造物群は、世界遺産に登録されています。

また、ウエスカまで行き、歴史ある街の散策やアラゴンピレネーへのトレッキングを楽しむのも良いでしょう。

南部への路線

スペインの首都、マドリードで朝を迎えたら、その日のうちにアンダルシアの中心地セビージャや地中海沿岸の街マラガに移動して、残りの時間を過ごしてみたいはいかがですか？マドリードーセビージャそしてマドリードーマラガ間のAVE路線は、多くの都市を結んでいます。

アンダルシア州に入る前に、カスティージャラ・マンチャ州の2都市に停車するAVEを利用することもできます。1時間弱でシウダ・レアルに到着です。歴史地区を散策したり、名産のチーズやワイン、ジビエ料理を試したり、楽しいひと時を過ごせます。

プエルトジャノでは、鉱山の町としての歴史に触れたり、世界を代表する写真家集団のマグナムにスペイン人として初めて参加したクリスティーナ・ガルシア・ロデロの美術館を訪れることができます。





▲ メスキータ
コルドバ

コルドバ

その歴史地区がユネスコの世界遺産に登録されているこのアンダルシアの街は、訪れる人を魅了して止みません。コルドバまでは、マドリードからAVEで1時間半強です。美しい旧市街で、趣のある路地裏や広場、石灰仕上げの真っ白なパティオなどを見て回りましょう。スペインのイスラム教徒が遺した象徴的なモニュメント **メスキータ**は誰もが感動すること間違いなしです。

コルドバの郷土料理を試すのもお忘れなく。コルドバ風サルモレホは、パンやオリーブオイルを使ったトマトベースの冷製クリームスープ。酢漬けにしたカタクチイワシなども有名です。甘党であれば、パステル・コルドベス（コルドバ風パイ）やアルファホール（ナッツと蜂蜜を使ったお菓子）、ペスティーニョ（蜂蜜を絡めた揚げ菓子）などはいかがでしょう。アラブ文化の影響を色濃く受けているコルドバのグルメをぜひ体験してみてください。

① コルドバへは、**セビージャ、バルセロナ、バレンシア、マラガ**や**サラゴサ**などからもAVEを利用できます。



▲ フェリア（春祭り）
セビージャ

セビージャ

アンダルシア州の州都セビージャは、人々の活気にあふれる明るい街。**大聖堂**や世界遺産にも登録されている**アルカサル**など、訪れる価値のある貴重な文化遺産も見られます。マドリードから約500キロ、AVEなら2時間半ほど。燦爛と降り注ぐ太陽の光と穏やかな気候が旅人を迎え入れます。タブラオ（フラメンコのショーを行う場所）へ行き、本場フラメンコの歌と踊りに触れれば、誰もが虜になるはず。フラメンコはユネスコの世界無形文化遺産にも登録されています。

スペインでも人気の高い**聖週間** または**フェリア（春祭り）** 期間中は、熱気に包まれながら本場の祭りを体験する絶好のチャンスです。

▼ サンタ・マリア・デ・ラ・セデ大聖堂
セビージャ





マラガ

偉大な画家パブロ・ピカソが生まれた地中海沿岸の街、マラガまで、マドリードからたったの2時間半ほどで到着します。

ポンピドゥーセンター
マラガ



写真: Pabkov/123RF.com

マラガ

冬でもきれいなビーチが自慢のマラガでは、名物の ペスカイト・フリート（小魚のフライ）や串刺しにしたイワシを炭火で焼いた「エスペト」も楽しみ。また、創作料理は驚くほどの美味しさです。

マラガのピカソ美術館やポンピドゥーセンターなど40か所近くに美術館・博物館があり、アート巡りの旅にもぴったりです。歴史的な中心街にはローマ劇場、アルカサバほか、歴史ある公園や庭園も数多くあります。都市部を望むヒブラルファロ山からは、ため息が出るほど美しい景色が楽しめます。

夜はナイトライフが盛んな中心部の地区へ。または、ビーチ沿いでお酒を片手にのんびり過ごすのも良いものです。ホテルのテラスでくつろぐのも一案。眠ることのない街で、ホテルの最上階から見る夜景はまた格別です。

マドリードーマラガ間を結ぶAVEを利用するなら、マラガに着く前にアンダルシアの小さな街で途中下車してみませんか？ **プエンテ・ヘニル**（コルドバ県）は、ヘニル川が真ん中を横切る、オリーブ畑に囲まれた田舎町。地元が誇る名産品、メンブリージョ（マルメロのジャム）は、ぜひお試しを。宮殿、修道院、小さな教会、アルカサバなど見どころの集まる**アンテケラ**でも下車してみましよう。ユネスコの世界遺産にも登録されているアンテケラのドルメン遺跡など青銅器時代のモニュメントが見られる、マラガ県の美しい街です。

① マラガへは、**バルセロナ**やその他の都市からAVEを利用できます。

グラナダ

マドリッドからグラナダまでの旅を高速鉄道で行くこともできます。列車によっては、アンダルシア全土でも世界に知られている都市のひとつ、グラナダに到着する前に口ハに停車する列車もあります。

グラナダに着いたら、**アルハンブラ宮殿**の見学は欠かせません。いくつもの壮麗な宮殿や庭園はかつてのナスル朝の絶大な勢力を象徴するものであり、今日では世界で最も有名な名所のひとつに数えられています。

また、市内の歴史地区を散策しながら**大聖堂**とカトリック両王の墓がある**王室礼拝堂**を訪れることもおすすめです。

夕暮れには**アルバイシン**地区に足を延ばしてみましょう。ここでは、**アルハンブラ**、**ヘネラリフェ**と並んで世界遺産に登録されています。ここには、忘れられない景色が広がる魅力的なサンニコラスの展望台があります。

グラナダの夜は、独特の洞窟の家が有名な**サクラモンテ地区**でディナーとフラメンコショーを楽しんでみてはいかがでしょうか。





北部への路線

カステージャ・イ・レオン州は豊かな文化と美味しい料理で知られています。セゴビア、バジャドリード、パレンシア、ブルゴス、レオン、サモラなどの美しい街が旅人を迎え入れてくれます。高速鉄道を利用すると、ガリシアのオウレンセ地方まで到着できます。

セゴビア

セゴビアまでは、マドリードからAVEで30分弱です。旧市街の入り口には、1世紀に建設された壮大なローマ時代の水道橋が架かり、世界遺産にも登録されています。情緒あふれる細い路地に入り、そぞろ歩きしてみましょう。ゴシック様式の **大聖堂** など、中世のルネサンス様式の厳かな建築物群が目を楽しませてくれます。

堀にかかる跳ね橋、塔や対になった大窓を持つ **アルカサル** などが次々に姿を現し、まるでおとぎ話の中に入り込んだような錯覚を覚えるかもしれません。セゴビアならではの美食も楽しみのひとつ。名物料理の子豚の丸焼きやラ・グランハのインゲン豆を、リベラ・デル・ドゥエロ産のワインと共に味わってみましょう。

セゴビアから30分ほど、マドリードから1時間ほどで**バジャドリッド**に到着します。ルネサンス時代の面影を残す、美しい歴史地区が有名。国立彫刻美術館を見て回り、お腹が空いたら美味しいタパスをつまんで、街の散策を楽しみましょう。

マドリードからAVEで1時間半、**パレンシア**の歴史地区でスペインのロマネスク様式の足跡を辿る旅へ出かけましょう。食事は子羊のロースト、鳩の煮込み、そして、こくのあるミネストローネも外せません。

AVEを利用してオウレンセまで行くな
ら、マドリードから1時間弱で**サモラ**に到着します。ヨーロッパを代表するロマネスク様式の教会がその市街地に集まる街です。是非この機会に名物のチーズやタラ料理の「バカラオ・ア・ラ・トランカ」を味わってください。

レオン

スペインの北西部に位置するレオンは、ユネスコの世界遺産にも登録されたサンティアゴ巡礼道に行く巡礼者が立ち寄る街。マドリードからAVEで2時間強で到着します。歴史地区の中心部には、ローマ時代に建てられた城壁が見られ、輝かしい中世の栄光の名残を感じさせる二大遺産もあります。重厚なゴシック様式の**大聖堂**は、美しいステンドグラスの窓が圧巻。そして、**サン・イシドロ・デ・レオン教会**は、スペインロマネスクの「システィーナ礼拝堂」とも呼ばれています。**バリオ・ウメド（ウメド地区）**の通りを歩いて、目についたバルに入ってみましょう。レオンならではの美味しい料理が堪能できます。セシナ（牛肉のハム）、チョリソーほか、タパスとして提供されるキノコ料理もおすすめです。地元のワイン、ティエラス・デ・レオン・イ・ビエルソもお忘れなく。





▲ 大聖堂
ブルゴス

ブルゴス

また、マドリードからは高速でこの街に1時間半強でアクセスできます。ユネスコの世界遺産に登録され、スペインのゴシック建築の代表ともいわれる見事な大聖堂は、必ず立ち寄りたい名所です。歴史地区の散策では、ウエルガス王立修道院、サンタ・マリア門、エスポロンの散歩道、マヨール広場を巡ってみましょう。人類進化博物館では、近郊のアタプエルカ遺跡で発見されたさまざまな化石が展示されています。遺跡を見学することもできます。お食

事にはブラッドソーセージやラム肉などをお楽しみください。

オウレンセ

AVEを利用すると、ガリシア地方に入り、マドリードからわずか2時間強でオウレンセの街を探索することもできます。2千年の歴史があるこの地では、その有名な温泉に感銘を受けることでしょう。日中または夜間でも入浴できます。無料で入れる温泉も多く、ミーニョ川のほとりにあります。

東部への路線

マドリードに滞在中、海が恋しくなったら、AVEに乗って**バレンシア**や**アリカ**ンテに行ってみましょう。2時間ほどで到着し、ビーチの散策や美味しいパエリアを楽しめます。

カスティージャ-ラ・マンチャ州の**クエンカ**に立ち寄ってみるのも良いでしょう。マドリードからは1時間弱で到着します。せりだした岸壁に建つ**宙づり**の家を目にすれば、誰もが驚くはず。肉好きにはたまらないジビエ料理が種類豊富にそろうのもクエンカならではの魅力です。クエンカへは、カスティージャ-ラ・マンチャ州最大の都市**アルバセテ**行きのAVE路線でも行くことができます。

カステジョン・デ・ラ・プラタと**ムルシア**の町へも高速鉄道を利用するとマドリードから3時間ほどで到着できます。

▶ 宙づりの家
クエンカ



高速鉄道 (AVE) でスピーディーに

バレンシア

穏やかな気候とビーチが魅力的な街。歴史ある**カルメン地区**は路地が入り組み、まるで迷路のよう。ゴシック様式の**大聖堂**と**ロンハ・デ・ラ・セダ**の美しさは想像以上です。徒歩でも自転車でも楽しめる**トゥリア庭園**では緑の木々に囲まれてひと息つけます。大規模な科学文化施設**芸術科学都市**と、併設されたヨーロッパ最大の水族館**オセアノグラフィック**にもぜひ訪れてみてください。

① AVEの路線情報や時刻表は、以下のサイトでご確認ください：
www.renfe.com



▲ 芸術科学都市
バレンシア



▲ サンティアゴの大聖堂
サンティアゴ・デ・コンポステーラ

豪華列車で 名所を巡る旅

レールの上を走る豪華絢爛なホテルで、美しい景観を楽しむ旅へ。楽しい夜のひと時を過ごしたら、そのまま贅沢なスイートルームに宿泊。夜間、列車は駅に停車するため、ゆっくりと休息が取れます。昼間は列車に揺られながら心地よい振動を身体に感じつつ、美味しい料理やさまざまなアクティビティなど、五つ星ならではの行き届いたサービスをお楽しみください。

列車が各地に停車するたびに、周辺の見どころを回ることもできます。駅からは送迎バスが運行し、絶景の観光地や厳選されたレストランへ案内してくれます。

まるで宮殿のような豪華な列車に乗って、ロマンあふれる旅をしてみませんか？



1920年代を象徴する豪華絢爛な車両は、映画や文学などで語り継がれる雰囲気ながら、21世紀の現代的な設備も整い、8日間の快適な旅を約束します。サン・セバスティアン（バスク州）からサンティアゴ・デ・コンポステーラ（ガリシア州）まで、またはその逆ルートでカンタブリア海沿岸を走る列車から、スペイン北部の魅力を満喫できます。

全14室の豪華なスイートルームには手の込んだ装飾が施され、プライベートラウンジやサロンカーの大きな窓からは美しい景観が楽しめます。1923年に製造された車両は、鉄道史にも残る貴重なものです。

▼ トランスカンタブリコ・グラン・ルホのルート





列車で旅するスペイン

トランスカンタブリコ・グラン・ルホ



トランスカンタブリコ・グラン・ルホ



列車は**バスク州、カンタブリア州、アストゥリアス州、ガリシア州**を通過します。スペイン北部の名物料理もぜひお楽しみください。列車の内外で、国際的に名を知られるシェフが腕を振るう数々の郷土料理が味わえます。ファバダ（アストゥリアス地方の白インゲンの煮込み）、コシード・モンタニェス（白インゲン、チョリソーなどを入れたカンタブリア地方の煮込み料理）、魚介のオープン焼き、アンチョビ、その他海鮮など、バラエティ豊かです。もちろん、デザートやエンパナーダ、腸詰め、地元のワインもお忘れなく。予約時に申し出ること、特別食のリクエストもできます。

車内では毎日、美味しい朝食が提供され、そのあとも楽しいスケジュールでいっぱい。美しい街を散策し、ガイド付きで美術館や大聖堂を回り、レストランで地元グルメも味わえます。

サン・セバスティアンの入り江は優雅な雰囲気にもまれ、絵のような美しさ。また、**ビルバオ**では、前衛的でダイナミックな都市のエネルギーが感じられます。もちろん、ビルバオのグッゲンハイム美術館もお見逃しなく。**サントナデル**では**グラン・カジノ**へ行くこともできます。歴史地区が魅力の**サンティジャーナ・デル・マル**や、海沿いに気持ちの良い遊歩道が続く**リバデセジャ**のような小さな町も訪れてみると良いでしょう。スペイン北部では、自然を満喫するのも忘れずに。ピコス・デ・エウロパ国立公園の山々や、ガリシア州のカテドラレスビーチは、驚くほどの美しさです。**サンティアゴ・デ・コンポステーラ**は、歴史地区中心部と、堂々たる大聖堂が見どころ。この大聖堂を目指して、毎年多くの巡礼者が訪れます。



観光を終えたら列車に戻り、お待ちかねの夕食を。その後はライブパフォーマンスを見ながらのパーティー、サロンカーでのドリンクタイムと、思いのままに楽しみましょう。スイートルームに戻ってゆっくり贅沢な時間を過ごすこともできます。十分に休息が取れるよう、夜間は列車が停車するため、列車を降りて散歩に出かけるのも自由です。

コスタ・ベルデ エクスプレス

サンティアゴ・デ・コンポステーラからビルバオまで（またはその逆ルート）のグリーンスペインを巡るひと味違う魅力いっぱいの旅です。6日間の行程でバスク・カンタブリア・アストゥリアス・ガリシアの美しい名所を訪ね、快適なおもてなしと厳選されたスペイン料理の数々を心ゆくまで楽しめます。

▼ コスタ・ベルデエクスプレスのルート



列車で旅する スペイン



グラナダを通過するアル・アンダルス号

魅力いっぱいの寝台列車で、スペイン
巡りを満喫!

アル・アンダルス号





▲ アル・アンダルスのルート

アル・アンダルス

アル・アンダルスは世界最大の豪華列車の一つです。まるでベル・エポックの魔法がかかった時代へタイムスリップしたかのような気分になります。スイートルームは、カレーからコート・ダジュールまで旅するイギリスの君主のためにフランスで造られた車両と同タイプのもが使用されています。昔ながらの魅力と最先端の現代的な設備が融合する車両をぜひ体験してみてください。

サロンカーでは、流れゆく景色を楽しみながら、美味しい朝食と夕食が味わえます。ピアノカーでは、生演奏を聴きながらカクテルで寛ぎましょう。

南スペインの魅力を余すところなく満喫するならアンダルシアルートがおすすめです。セビージャからマラガまで（またはその逆ルート）の行程を見どころ

満載の7日間で過ごします。アンダルシアの州都セビージャから出発するならば、アラブ人の遺した歴史地区と素晴らしい気候、地元の人々の明るく親しみやすい気質が旅人を魅了するこの街を訪ねてみましょう。ユネスコの世界遺産にも登録されている大聖堂、アルカサル、インディアス古文書館などの名所も見逃せません。入り組んだ細道のサンタ・クルス地区を散策したり、美しいスペイン広場で至極のひと時を過ごすのもおすすめです。

このルートでは、ヨーロッパ最古の町ともいわれる千年を超える歴史を持つカディスを訪ね、続いてヘレスにも停車します。この街では、スペイン音楽に合わせてアンダルシア馬が披露する馬術ショーを見学したり、ヘレスワインの有名なワイナリーを訪ねてみるることができます。

ロンダのタホ川にかかる高さ98メートルのヌエボ橋から眺める絶景は、名所として人気の高い場所です。続いてコルドバでは、世界遺産に登録されている歴史地区で西イスラム文化を代表する名所のメスキータ大聖堂を見学できます。

この列車の行程は、世界遺産都市のウベダとバエサ（ハエン県）にも停車

し、続いてグラナダに到着します。ここでは、ナスル朝の城塞アルハンブラの美しい宮殿や庭園を堪能できるほか、魅力にあふれる歴史地区を散策したり、地元レストランでの夕食を楽しむことができます。

旅の終着点マラガでは、イスラム時代の宮殿要塞であるアルカサバを訪れましょう。

▼ メスキータ大聖堂
コルドバ



その他のおすすめ 列車

気軽な日帰り旅から、スペインを深く知る長旅まで。広範に延びる路線により、各地で新しい魅力に出合え、列車の旅そのものが楽しい体験になるはず。時期により運行日が変わることがあるため、スケジュールを確認しましょう。出発の予約をしたら、いよいよ列車の旅の始まりです！





▲ ロブラ特急

ロブラ 特急列車

レトロな車両をホテルに改装したロブラ特急で、スペイン北部巡りを楽しみましょう。芸術、美しい景観、そして美食の旅が待っています。ラ・ロブラ特急では、**ビルバオ**を出発して**レオン**に到着するルートとその逆を行く行程のレオン発ビルバオ着の2つのルートがあり、どちらも2泊3日のプランです。

客室の設備も万端。モダンで新しいインテリアの客室は、ゆっくり休息できる二段ベッドとバスルームを完備します。他の列車と同様、ロブラ急行も夜間は停止して走行せず、落ち着いて眠りにつくことができます。

日の出と共に列車が出発したら、大きな窓から過ぎゆく景色を楽しみましょう。朝食も提供されます。昼食と夕食は、各地の特産品や郷土料理を味わえるよう、その土地ならではのレストランに出かけます。送迎車もあり、ガイド付きツアー、美術館やモニュメント、ショーの見学など、各地で移動が必要となった際に利用できます。入場料や指定レストランでの食事代などは、すべて旅行代金に含まれています。

ビルバオからレオンに行くルートを選ぶなら、昔の炭鉱列車を改装した列車の一日目はまずバスク州のビルバオを出発し、フリアスの町とその近くのトベラの滝（ブルゴス県）、そしてブルゴスに属する美しい村のエスピノサ・デ・ロス・モンテロスを訪れます。

2日目は、サンティアゴ巡礼道の間中点であるカリオン・デ・ロス・コンデス、フロミスタ、サルダーニャを巡り、パレンシア地方のロマネスク様式が美しい景観を眺めます。続いて列車の旅はカスティージャ運河またはローマ時代からの村ラ・オルメダと見事なモザイク画のコレクションを訪ねます。こうして、システルナから大聖堂が有名なレオンの街を訪れてこの旅の終点となります。

▶ サン・マルティン・デ・トゥルス教会
フロミスタ



逆方向のレオン発ビルバオ行きルートを選ぶ場合の行程はほぼ同様になりますが、いくつか異なる場所を訪ねます。たとえば、鍾乳石、石筍やユニークな形をした岩、そして100,000平方メートルにも広がる素晴らしい地下空洞で知られる見事なバルボルケロの洞窟の見学は特におすすめです。

最終日には、ビルバオへの道のりでメナ溪谷の絶景を楽しみます。ビルバオに到着したら、街を散策し、有名なビルバオのグッゲンハイム美術館を訪ねましょう。



バルボルケロの洞窟
レオン



▲ ドン・キホーテの銅像
アルカラ・デ・エナーレス、マドリッド州

セルバンテス列車

ドン・キホーテの作者であるセルバンテス生誕の地、アルカラ・デ・エナーレスまで運行する、文豪をしのぶ路線です。日帰りで行けるので、マドリッド滞在中の小旅行にぴったりです。このテーマトレインでマドリッドのアトーチャ駅を出発し、街の大学と歴史地区がユネスコの世界遺産に登録されている目的地の**アルカラ・デ・エナーレス**にはわずか35分で到着します。

列車に乗る前から、セルバンテスの生きていた時代へタイムスリップしたかのような気分が味わえます。黄金時代の衣装をまとったエンターテイナーがホームで旅行者を出迎え、目的地まで同行し、車内でセルバンテスの作品の一節を演じて

くれるので、文学の世界にどっぷりと浸かることができます。

アルカラ・デ・エナーレス到着後は、ガイドが旅行者を出迎え、文豪セルバンテスの生家、ヨーロッパ最古の中庭劇場のひとつ**コラル・デ・コメディアス**など、旧市街の見どころを案内してくれます。その後はフリータイムとなり、思い思いに小さな街の散策を楽しんだり、の郷土料理を味わったりできます。あとは名物のコストラーダ（アルカラ・デ・エナーレス風ミルフィーユケーキ）やロスキージャ（スペイン風ドーナツ）などのデザートを忘れずに、帰りの列車の集合場所へ向かいましょう。

その他の列車



▲ プエルタ・デ・アトーチャ駅
マドリッド

マドリッド滞在中に、歴史と演劇を身近に感じながら美味しい料理も堪能できる**中世列車**を体験してみませんか？グアダラハラ県にある歴史ある町**シグエンサ**までの約1時間半、車中では中世の代表的人物を演じる役者たちに囲まれて、当時の世界に迷い込んだ気分を味わえます。名物のお菓子を舌鼓を打ちながら、トルバドゥール（中世の叙情詩の詩人、歌手）、サンクード（竹馬に乗った道化師）、マラバリスタ（大道芸人）と一緒に楽しい時間を過ごしましょう。目的地到着後は、地元ガイドが街を案内してくれます。壮大な大聖堂、城、プラサ・マヨールなど、見どころはたくさん。お腹が空いたら、地元の名物となっているミガス（パンを使った炒め物料理）やカステージャ風スープなどをお試しください。デザートには、郷土菓子のジェマス・デル・ドンセル（卵黄と砂糖で作られたデザート）などはいかがですか？

マドリッド滞在中、レトロな車両が特徴の**イチゴ列車**に乗車するのも一案です。マドリッドからわずか50キロ、歴史ある**アランフェス**を目指して走行します。家族連れにぴったりの日帰り旅行です。



アランフェス
王宮

20世紀初頭の木製車両を改装した客車に乗る旅は、誰にとっても特別な体験になるはず。車中では、当時の服装に身を包んだ客室乗務員が大粒の美味しいイチゴを届けてくれます。

列車で行ける旅行プランはこの他にもまだまだたくさんあります。ここでご紹介するのはほんの一部です。

魅力いっぱいの街、アランフェスを回るには、王宮、小艇王立博物館、王子の庭園などを見学するガイド付きのプログラムツアーがおすすめです。また、タホ川では舟下りも楽しめます。食事は、畑から採れたばかりの新鮮なアスパラガスや、キジ、ウズラなどのジビエ料理をぜひお試しください。

マドリードから遠く離れたスペイン北部にも、おすすめの路線がたくさんあります。観光列車の旅で**ガリシア州**の魅力に迫りましょう。さまざまな旅程から好みのプランを選ぶことができます。日帰りで行けるテーマ別の各プランは、列車代金、特別ガイド、アクティビティ、各所見学料、送迎車の料金が含まれています。

地元ワイナリーを見学するなら、**リベイラ・サクラ**や**バルデオラス**はいかがでしょう。各地でワイナリー巡りを楽しめ

ます。歴史遺産や豊かな自然に興味があるなら、灯台、荘園邸宅と椿庭園のルートや修道院を訪ねるルート、または**ア・コルーニャ**の街とガリシアビール博物館を訪ねるルートへ。**ランペラ（ヤツメウナギ）ルート**（ポンテベドラ県）では、ミニョ川のヤツメウナギ（珍味として調理される独特の魚）を獲る百年の歴史がある漁場を訪ねることができます。食指が動くプランとしては、**ガリシアのチーズルート**がおすすめ。リラックスするなら、オウレンセの温泉ルートがぴったりです。

リベイラ・サクラ
ルゴ

インターレイル： お得楽しむ旅

フレキシブルに列車プランを決定できるインターレイルパスを利用すれば、特定の地域で列車が乗り放題となります。パスはさまざまなタイプと期間から選べます。場合によっては、事前予約が必要または推奨されることがあります。ヨーロッパ在住の場合には、**インターレイル・スペインパス**のようなワンカントリーパスを購入すると、居住国以外の特定の1カ国で使用可能となります。一方、**グローバルパス**は、ヨーロッパ内の30カ国以上の鉄道に乗車できます。ヨーロッパ在住者以外を対象とした**ユーロレイルパス**もあります。若者や高齢者、家族連れ用には特別セールや割引があり、また、大人同伴で旅行する場合には、12歳以下の子供は無料となります。

インターレイル・スペインパスでは、スペイン国鉄（RENFE）と地中海を運行するバレアレス諸島行きフェリーを利用できます。

インターレイルパスを利用して、スペイン国内を巡るスペシャルな列車体験を。

詳細は：

① <https://www.interrail.eu/es/>

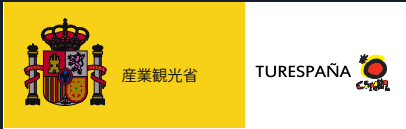
① www.renfe.es

知っ得情報

レンフェ・スペインパスは、スペイン在住者以外を対象とする、国内のAVE、長距離、中距離列車のすべてに乗車できるパスです。有効期限は初回乗車日から1か月間で、6カ月前から予約が可能です。4回、6回、8回、10回乗車券があります。

普通席またはコンフォート席から座席のタイプを選べます。AVEまたは長距離列車を利用するなら、近郊列車（Cercanías）への乗り換えが含まれているので是非活用しましょう。セルカニア、ロダリエス、アリカンテのTRAMに列車出発時刻の4時間前から到着時刻の4時間後まで無料で乗車できます。

ご旅行のサポートが必要な方にスペイン国鉄（RENFE）では、お体が不自由なお客様や障がいのあるお客様を対象としたヘルプとサポートの無料サービス**Adif Acerca**を設けています。このサービスを利用することで、列車の乗り降りや移動にも安心です。



X @spain

Instagram @spain

Facebook Spain.info

YouTube /spain

TikTok @visitSpain